

東京国立 博物館 ニュース

第694号
展示と催し物
案内

2-3 ○ 平成21年度の東京国立博物館
特別展予定／国宝室展示予定ほか

4-5 ○ 興福寺創建1300年記念「国宝 阿修羅展」

6 ○ 特別展「Story of...」
カルティエ クリエイション〜めぐり逢う美の記憶

7 ○ 特別展予告
特別展「染付—藍が彩るアジアの器」
第62回式年遷宮記念特別展「伊勢神宮と神々の美術」

8-11 ○ 平常展見どころ案内2009年4月・5月
国宝 火焰宝珠形舍利容器／特集陳列「平成20年度新収品展」／
特集陳列「南太平洋の暮らしと祈り」／埴輪 挂甲の武人／住吉物語絵巻

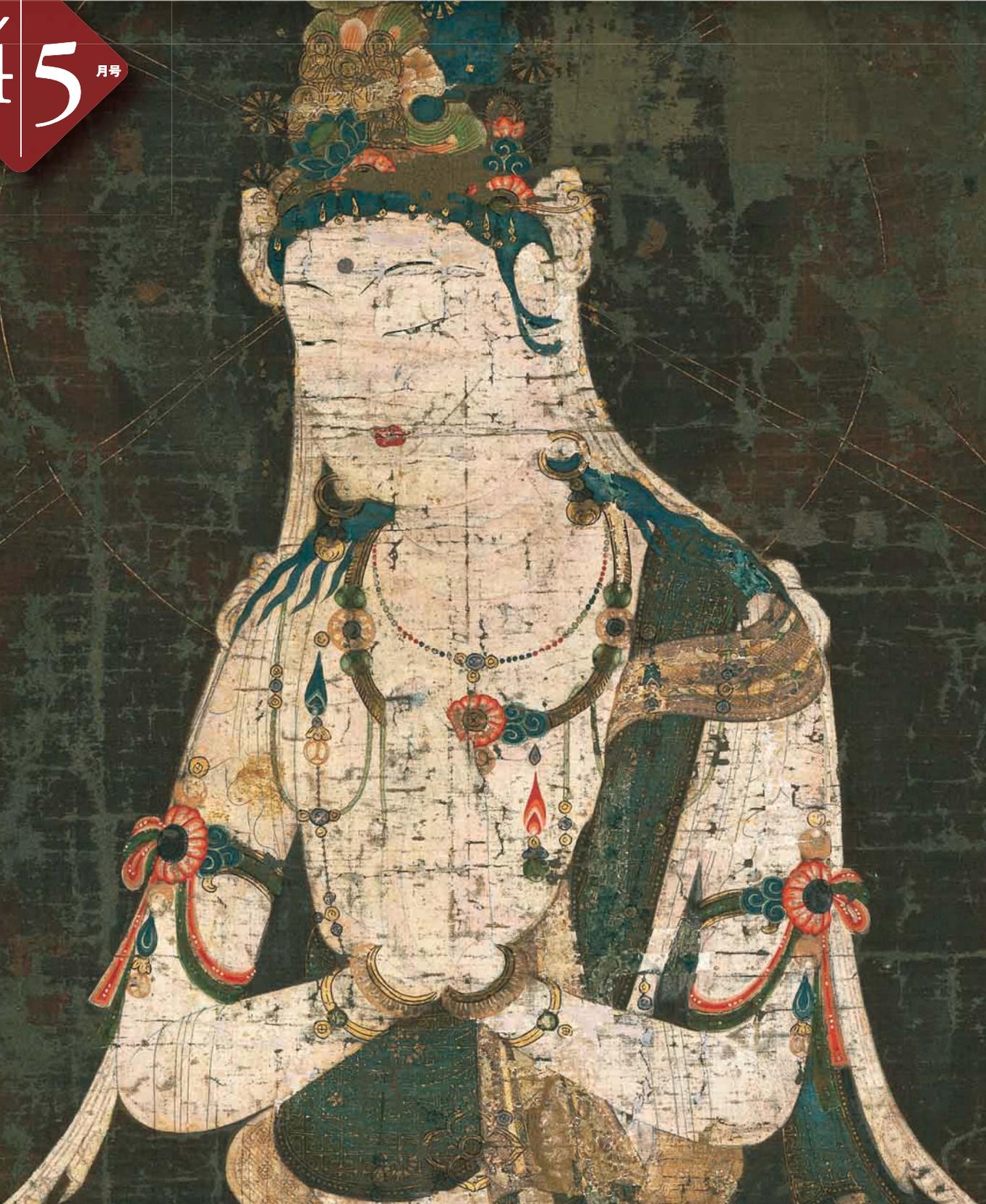
12-13 ○ 教育普及事業 14 ○ INFORMATION 15 ○ TOPICS

16 ○ 2009年4月・5月の展示・催し物

2009

45

月号



平成21年度の東京国立博物館

平成二十一年度を迎えて

東京国立博物館長 佐藤 順一

皆様のお支えのお陰をもちまして、昨年度も当館は順調に事業を展開することができました。まずは厚く御礼を申し上げます。

今年度も、平城遷都および興福寺創建千三百年記念の一環として「国宝 阿修羅展」、日仏修好百五十周年を記念する「Story of...」カルティエ クリエイション〜めぐり逢う美の記憶」展、磁器の染付を展観する「染付―藍が彩るアジアの器」展、伊勢神宮第六十二回式年遷宮を記念する「伊勢神宮と神々の美術」展、没後四百年の「長谷川等伯」展などを計画し、海外ではロサンゼルスのパウワーズ美術館で「サムライの美術 東京国立博物館精選」展の準備をしています。近時海外からの出展要請が多く、このほかにもミラノ展などが計画されています。

また、幸い評判の良い「日本美術の流れ」や「仏像の道」などにもさらに工夫を加え、平常展示の充実にも努力を重ねてまいります。三年目を迎えた「みどりのライオン」(教育普及事業)や開発を重ねているミュージアムシアターの魅力も皆様にお伝えしたいと思っております。引き続き皆様方のご支援をお願い申し上げます。

T O K Y O N A T I O N A L M U S E U M

特別展の予定

平成館

2009年3月31日(火)～6月7日(日)

興福寺創建1300年記念
「国宝 阿修羅展」

主催：東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、テレビ朝日

阿修羅像をはじめとする八部衆像(国宝)、十大弟子像(国宝)、鎮壇具(国宝)など、約70件を展示いたします。特に、八部衆像(8体)と十大弟子像(現存6体)の全14体が揃って寺外で公開されるのは、史上初めての事です。

▶●阿修羅立像(部分) 奈良時代・天平6年(734) 奈良・興福寺蔵



2010年2月23日(火)～3月22日(月・休)

没後400年 特別展
「長谷川等伯」

主催：東京国立博物館、毎日新聞社、NHK、NHKプロモーション

長谷川等伯の初期作品から晩年の作品まで幅広い画業を一挙公開する大回顧展です。繊細にして大胆な作品と、等伯の人間ドラマを没後400年の節目の年にご紹介いたします。

▶●松林図屏風(部分) 長谷川等伯筆 安土桃山時代・16世紀



2009年7月14日(火)～9月6日(日)

「染付―藍が彩るアジアの器」

主催：東京国立博物館

白磁の素地にコバルトを含んだ顔料で文様を描き、鮮やかな藍色に発色させる染付の技法は、中国で元時代に完成されます。やがて東洋各地に伝わり、個性豊かな染付が焼かれました。躍動する文様、素地の美など、染付の魅力に迫ります。

▶染付草花文輪花大皿 伊万里 江戸時代・17世紀



表慶館

2009年3月28日(土)～5月31日(日)

「Story of...」カルティエ クリエイション〜めぐり逢う美の記憶」

主催：東京国立博物館、日本経済新聞社

日仏交流150周年を記念し、フランスを代表するジュエラー、カルティエが所有するアーカイヴピースを中心に展示します。吉岡徳仁氏が展示を監修し、それぞれの宝飾品に秘められたストーリーを演出します。

▶パティアのマハラジャ、プbindラ・シンの依頼によるネックレス カルティエ パリ 1928年 Photo: N. Welsh, Cartier Collection ©Cartier



2009年7月14日(火)～9月6日(日)

第62回式年遷宮記念
「伊勢神宮と神々の美術」

主催：東京国立博物館、社団法人霞会館、産経新聞社

古代から近世までの「伊勢神宮」の神宝など約150件を展示。神宮の歴史や遷宮の意味をたどるとともに、古式に則り日本の技と美が伝承される式年遷宮の実態に迫ります。また、参詣曼荼羅や神像彫刻など、日本古来の宗教美術の精華を紹介いたします。

▶●延喜式 巻4(部分) 平安時代・延長5年(927)



※2009年4月7日(火)～5月10日(日)、日本とギリシャの修好110周年の記念事業として、ギリシャの新たな文化活動の取り組みを写真パネルと映像資料で紹介する「アテネ・メトロ・ミュージアム―ギリシャの地下鉄が結んだ古代と現代展―」が、平成館企画展示室で開かれます。本誌15ページをご覧ください。

本館2階 国宝室 展示予定

3月31日(火)～4月19日(日)

●**花下遊楽図屏風** 狩野長信筆
安土桃山～江戸時代・17世紀



4月21日(火)～5月31日(日)

●**普賢菩薩像**
平安時代・12世紀



6月2日(火)～7月12日(日)

●**法華経方便品(竹生島経)**
平安時代・11世紀



7月14日(火)～8月23日(日)

●**延喜式** 卷9・巻32
平安時代・11世紀



8月25日(火)～10月4日(日)

●**地獄草紙**
平安時代・12世紀



10月6日(火)～11月1日(日)

●**観楓図屏風** 狩野秀頼筆
室町～安土桃山時代・16世紀



11月3日(火・祝)～11月29日(日)

●**法華経(久能寺経)** 譬喩品、囑累品
平安時代・12世紀 静岡・鉄舟寺蔵



12月15日(火)～2010年1月11日(月・祝)

●**元暦校本万葉集** 巻第1・巻第20
平安時代・11世紀



2010年1月13日(水)～2月7日(日)

●**秋冬山水図** 雪舟等楊筆
室町時代・15世紀末～16世紀初



冬景

2010年2月9日(火)～3月22日(月・休)

●**千手観音像**
平安時代・12世紀



2010年3月24日(水)～4月11日(日)

●**花下遊楽図屏風** 狩野長信筆
安土桃山～江戸時代・17世紀

その他の主な作品の展示予定

本館(日本ギャラリー)

- 3月24日(火)～6月14日(日) ●**太刀(名物 三日月宗近)** 平安時代・10～11世紀 13室
- 5月12日(火)～6月14日(日) ○**大威徳明王像** 平安時代・12世紀 奈良・談山神社蔵 3室
- 5月12日(火)～6月14日(日) 焰 上村松園筆 大正7年(1919) 18室
- 6月2日(火)～7月12日(日) ○**歌舞伎図屏風** 菱川師宣筆 江戸時代・17世紀 7室
- 6月2日(火)～7月12日(日) ○**松巒古寺図** 田能村竹田筆 江戸時代・1833年 8室
- 6月16日(火)～9月13日(日) ●**片輪車螺鈿手箱** 鎌倉時代・13世紀 13室
- 6月16日(火)～9月13日(日) ○**色絵月梅図茶壺** 仁清 江戸時代・17世紀 13室
- 7月22日(水)～11月8日(日) ○**青磁茶碗 銘馬蝗肆** 中国 南宋時代・13世紀 4室
- 7月22日(水)～10月12日(月・祝) ●**四天王立像広目天** 平安時代・12世紀 京都・浄瑠璃寺蔵 11室
- 7月28日(火)～10月18日(日) ○**老猿** 高村光雲作 明治26年(1893) 18室
- 9月8日(火)～10月18日(日) ●**扇面法華経冊子** 平安時代・12世紀 3室
- 9月8日(火)～11月29日(日) ○**麗子微笑** 岸田劉生筆 大正10年(1921) 18室
- 9月15日(火)～11月8日(日) 小袖白輪子地斜縞歌文字模様 江戸時代・17世紀 10室
- 10月14日(水)～2010年1月17日(日) ○**毘沙門天立像** 平安時代・応保2年(1162) 11室
- 10月20日(火)～11月29日(日) ○**一休和尚像** 没倫紹等賛 室町時代・15世紀 3室
- 11月3日(火・祝)～11月29日(日) ○**娘日時計・午ノ刻** 喜多川歌麿筆 江戸時代・18世紀 10室
- 12月8日(火)～2010年3月14日(日) ●**太刀(名物 童子切安綱)** 平安時代・10～11世紀 13室
- 12月15日(火)～2010年1月24日(日) ○**月次風俗図屏風** 室町時代・16世紀 3室
- 12月15日(火)～2010年3月22日(月・休) ●**白糸威鐘** 鎌倉時代・14世紀 鳥根・日御碕神社蔵 5室
- 2010年1月5日(火)～2月28日(日) 升色紙 伝藤原行成筆 平安時代・11世紀 4室
- 2010年1月13日(水)～2月21日(日) ○**洛中洛外図屏風(舟木本)** 江戸時代・17世紀 7室
- 2010年2月23日(火)～4月4日(日) 七言絶句 良寛筆 江戸時代・19世紀 8室
- 2010年3月9日(火)～4月18日(日) ○**夢記** 明恵筆 鎌倉時代・13世紀 京都・高山寺蔵 3室

東洋館(アジアギャラリー)

- 4月7日(火)～6月7日(日) **カルトナーージュ棺とミイラ** 第3中間期、第22王朝 前935～前730年頃エジプト、テーベ 第3室
- 4月7日(火)～6月7日(日) 打敷 **五彩緞子縫合せ草花文様編織** 明時代・16世紀 第5室
- 4月7日(火)～5月10日(日) ○**四季花鳥図(春)** 呂紀筆 明時代・15～16世紀 第8室
- 5月12日(火)～6月7日(日) ●**十六羅漢図(第六尊者)** 北宋時代・10～12世紀 京都・清凉寺蔵 第8室

表慶館

- 8月4日(火)～2010年1月31日(日) 弥勒菩薩・禅定仏・燃燈仏本生 アフガニスタン 3世紀 第1室
- 8月4日(火)～2010年1月31日(日) **イニ像浮彫** エジプト 古王国時代 第2室
- 8月4日(火)～2010年1月31日(日) ○**三彩龍耳瓶** 唐時代・8世紀 第7室
- 2010年2月6日(土)～8月1日(日) ○**五彩唐草文碗** ベトナム・16世紀 第1室
- 2010年2月6日(土)～8月1日(日) **饗饗文甌** 商時代・前13～前11世紀 第8室
- 2010年2月6日(土)～8月1日(日) ○**金銅透彫冠帽** 三国時代・6世紀 第9室

法隆寺宝物館

- 4月28日(火)～5月24日(日)、7月28日(火)～8月30日(日)、10月6日(火)～11月1日(日) **伎楽面** 飛鳥時代・7世紀 第3室
- 10月6日(火)～11月1日(日) ●**聖徳太子絵伝** 秦致貞筆 平安時代・1069年 第6室

黒田記念館 木・土曜日 13:00～16:00のみ開館

- 4月16日(木)～7月11日(土) ○**湖畔** 黒田清輝筆 明治30年(1897)
- 9月3日(木)～12月24日(木)、2010年1月7日(木)～2月20日(土)、2月27日～4月3日 ○**智・感・情** 黒田清輝筆 明治32年(1899)



図1 ●中金堂鎮壇具 奈良時代～唐時代・8世紀

興福寺創建と中金堂鎮壇具

興福寺は和銅三年(七一〇)の平城遷都
 にもなつて、現在の地に創建されまし
 た。最初に建てられたのは中金堂で、そ
 の地を鎮め寺の永遠の存続を祈つて、基
 壇に金塊や銀製品、琥珀や水晶製品な
 どが埋納されました。その数は千
 四百にもおよびます(図1)。
 本展覧会ではまず、「興福寺
 創建と中金堂鎮壇具」をテ
 ーマに、その全貌を紹介します。

つぎは「国宝阿修羅とその世界」がテ
 マです。はじめに、法隆寺所蔵の橘三千
 代の念持仏と厨子と伝えられる作品を
 覧いただきます。実は、阿修羅像(図2)
 は光明皇后が亡き母、橘
 三千代の一周忌供養の
 ために天平六年(七三四)
 に造ったものの一体でし
 た。そこでまず三千代自身の信仰にもふ
 れていただきます。

光明皇后は母親が亡くなるとすぐに、

阿修羅展

国宝

興福寺創建1300年記念

1

図2 ●阿修羅立像
 (八部衆像のうち)
 奈良時代・天平
 6年(734)
 奈良・興福寺蔵

金堂再建と仏像

これまで幾多の災難にみまわれてしまし
 たが、その中でもっとも被害甚大であつ

たが、その中でもっとも被害甚大であつ



いよいよ阿修羅像です。まず、
 像と同じくらいの高さに立つて対面して
 いただきます。憂いに満ちた顔をじつく
 りご覧いただいてから、像の近くに進ん
 てください。像は周囲三百六十度どこか
 らでも見ることができます。寺ではよく
 見えない脇の顔や、この機会で見れば
 見ることのできない背面までご覧
 ください。いままで知らな
 かった魅力を発見できるは
 ずです。

三つめのテーマは「中金
 堂再建と仏像」です。興福
 寺には中金堂、西金堂、
 東金堂の三つの金堂があり
 ましたが、現在は東金堂
 しかありません。寺の中
 心である中金堂は、享保二
 年(一七一七)の火災以後途
 絶えていましたが、二〇一二年
 の立柱^{りゅうちゆう}に向け、事業を進めております。

三つめのテ
 ーマはそれ
 に関連する
 ものです。

興福寺は

The National Treasure
 ASHURA
 and Masterpieces from Kohfukuji

平城遷都1300年記念
 朝日新聞130周年記念
 テレビ朝日開局50周年記念

好評につき
 開館時間
 延長決定!

火・水・木→18時まで
 金・土・日・祝休→20時まで

*「Story of...」(6ページ)の
 開館時間は異なります

主催:東京国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、テレビ朝日 後援:文化庁、平城遷都1300年記念事業協会
 特別協賛:JAバンク 協賛:竹中工務店、三菱商事、凸版印刷 特別協力:ソニー 協力:ニッセイ同和損害保険、朝日放送、文化放送、朝日学生新聞社
 観覧料:一般1,500円(1,300円/1,200円)、大学生1,200円(1,000円/900円)、高校生900円(700円/600円)
 ※()は前売/団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください) ※団体は20名以上 ※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に
 障害者手帳などをご提示ください) ※特別展「Story of...」 カルティエ クリエイション〜めぐり逢う美の記憶(3/28〜5/31 表層館)は別途観覧料が必要です
 お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル) 展覧会公式サイト:http://www.asahi.com/ashura
 2009年7月14日(火)〜9月27日(日)九州国立博物館へ巡回します 主催:九州国立博物館、法相宗大本山興福寺、朝日新聞社、九州朝日放送
 関連事業については本誌13ページをご覧ください。

3

西金堂と丈六釈迦および脇侍、十大弟子、八部衆などの二十八体の彫刻、それに菩提樹や金鼓などの荘厳具の造営に取りかかり、ほぼ一年をかけて完成させました。史料によると金鼓には槌をもつ

た波羅門像が付属していたといえます。金光明最勝王經という当時もつとも重要であった経典には、仏が大衆に説法しているとき一人の波羅門が金鼓を打つと、その音色は人々を悟りに導くかのようにあつたとあります。西金堂は、その情景を表したと考えられます。なお、中世に補われたものですが、波羅門像も今回初めて公開されます。西金堂創建期作品のうち現存するものは、華原磬(図3)と十大弟子が六体、八部衆像ですが、すべてが揃って寺外で公開されるのは、はじめてのことです。十大弟子、八部衆像はガラスケースなしでご覧いただけますので、像と鑑賞者の間に寺では体験できない貴重な空間が広がります。

国宝阿修羅とその世界

2



図3 ●華原磬 奈良時代・天平6年(734) 奈良・興福寺蔵



図4 ●釈迦如来像頭部 木造、漆箔 鎌倉時代・文治2年(1186) 奈良・興福寺蔵



図5 ●薬王菩薩立像 木造、漆箔 鎌倉時代・建仁2年(1202) 奈良・興福寺蔵

最後にはバーチャルリアリティというデジタル技術を使って、阿修羅と再建計画中の中金堂を再現する映像を上映いたします。失われた空間が甦ります。

(丸山士郎)

たのは、治承四年(一一八〇)の平氏による焼き打ちです。一夜にして寺のほぼすべてが灰燼に帰りました。その再興を担った仏師の中に運慶と父の康慶がいました。ここではまず、康慶がもともと南円堂のために造った四天王像をご覧いただきます。平安時代後期は、四天王像も都の貴族の趣味が反映された穏やかな表現でしたが、康慶は奈良時代の作品を参考に、いきいきとした像を造りました。運慶は西金堂を担当したようです。「西金堂」の墨書があり、最近発見された史料から文治二年(一一八六)に運慶が製作した可能性が高くなった釈迦如来の頭部(図4)と左右の腕、光背に付けられていた化仏と飛天を展示します。また、釈迦如来の脇侍で、遅れて建仁二年(一二〇二)に造像された薬王菩薩(図5)、薬上菩薩像も展示します。三・六メートルあまりの巨像です。四天王像、薬王・薬上菩薩像は再建後の中金堂に安置されます。

興福寺創建1300年記念

「国宝 阿修羅展」

3月31日(火)～6月7日(日)

東京国立博物館 平成館特別展示室第1～4室



Story of...

特別展「Story of...」

カルティエ クリエイション | めぐり逢う美の記憶

吉岡徳仁 監修

カルティエの宝飾品は、多彩な魅力に溢れています。それは東洋趣味やアール・デコの流行の一翼を担いながらも世界大戦やアポロ11号の月着陸といった歴史を画す出来事を作品に取り込むなど、単に豪華で優美な宝飾品という枠を超え、19世紀後半から21世紀という激動の時代の変革を敏感にとらえた社会的なメッセージを含む作品を世に送り出してきたからに他なりません。また、カルティエは新しい発想と技術で宝飾品の歴史を変えてきました。それまで宝飾品の素材として一般的ではなかったプラチナを採用し、まるでレースのような繊細優美なガーランドスタイル(花手綱様式)のティアラ(図1)やブローチを生み出しました。この他、今日の腕時計の原型ともなった「サントス」、20世紀に広まった自由と自立に目覚めた新しい女性たちの精神を象徴するバンテール(豹)モチーフ(図2)、長針と短針が宙に浮かんで時を刻むミステリークロックなど、その革新性もカルティエの大きな魅力となっています。そして、こうした宝飾品の一つひとつには、飛び切りの物語が秘められているのです。その一つをご紹介します。

2匹の尾と顎部を留めたワニのネックレス(図3)。これはそれぞれを離してブローチとして身につけることもできます。これを注文したのが、メキシコの国民的スターであり、フランス映画界にもその名を馳せた伝説の女優、マリア・フェリックス。彼女は無類の爬虫類好きだったといえます。そんな彼女がある日突然、パリのカルティエ本店に本物の2匹の子ワニが入ったガラス瓶を抱えて現れます。そして、「彼らをモデルに」と注文したといえます。「急がないと大きくなっちゃうわよ!」ということばを添えて、こうして生まれたのがこのネックレス。1匹には1023個、60.02カラットのインテンスイエローダイヤモンド、もう1匹には1060個、66.86カラットのエメラルドがあしらわれています。また目にはそれぞれエメラルドとルビーが嵌め込まれています。身をくねらせ、腹の膨らみまでも巧みに表現したリアルな量感からは、カルティエの職人たちの技術の高さも窺われます。

今回、会場ではデザイナー吉岡徳仁氏の斬新な演出のもと、こうした様々な物語がそれぞれの宝飾品から沸きあがります。宝飾品に秘められた「美」と「歴史」、そして「物語」をご堪能ください。(井上洋一)



図1「スクロール」ティアラ
1910年 photo: N. Welsh,
Cartier Collection
©Cartier



図3「クロコダイル」ネックレス
1975年 photo: N. Welsh,
Cartier Collection
©Cartier



図2 バンテール パターン
リストウォッチ 1914年
photo: N. Welsh, Cartier
Collection ©Cartier

開館時間!

平日→9時30分~17時まで
(金曜日は20時まで)

土・日・祝休→18時まで

*「国宝 阿修羅展」(4ページ)の
開館時間は異なります

3月23日現在

日仏交流150周年記念 特別展
「Story of...」
カルティエ クリエイション〜
めぐり逢う美の記憶
3月28日(土)~5月31日(日)
東京国立博物館 表慶館

主催:東京国立博物館、日本経済新聞社 特別協力:カルティエ 監修:吉岡徳仁
後援:フランス大使館 協賛:エグゼク インターナショナル、JTB法人東京、セントラル硝子、
大日本印刷、マックスレイ、山元、ライジングサンセキュリティーサービス
観覧料:一般1,400円(1,200円/1,100円)、大学生・高校生800円(600円/500円)
※()は前売/団体 ※中学生以下は無料(生徒手帳など年齢のわかるものをご提示ください)
※団体は20名以上 ※障害者とその介護者1名は無料(入館の際に障害者手帳などをご提示ください)
※特別展「国宝 阿修羅展」(3/31~6/7 平成館)は別途観覧料が必要です
お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)
関連事業については本誌13ページをご覧ください。



図2 染付網目文大皿 伊万里
江戸時代・19世紀
海の幸は漁網をあらわした染付
皿の上でいっそう輝きを増します
(寿司は食品サンプル)

染付とは白磁の素地にコバルトを
含む顔料を用いて文様を描き、藍
色の文様をあらわす技法をいいま
す。中国江西省の景德鎮窯におい
て、元時代に完成されました。そ
れまでの陶磁器にはない、生き生
きとした動きをもった文様はたち
まち人々の心をとらえ、明時代以
降は磁器の装飾の主流となります。
染付の技法はベトナム、朝鮮、そし
て日本に伝えられ、素地の白さや
釉薬の光沢、コバルト顔料の色合い
の違いなどに応じて多種多様な染
付が施されました。磁器は染付で
文様が施されることにより、いっ
そう親しみ深いものとなり、人々の

特別展
染付 — 藍が彩るアジアの器
SOMETSUKE — The Flourishing of
Underglaze Blue Porcelain Ware in Asia



図1 染付草花文輪花大皿
伊万里 江戸時代・17世紀
繊細な濃染め(薄めたコバルト顔料
で塗りつぶす技法)を駆使した優美
な様式は、日本で独自に完成され
たもの

日常生活の中に浸
透してゆきます。

この展覧会では中国、ベトナム、
朝鮮、日本で焼かれた染付の優品
を一堂に集め、染付の特質と多様
性、そして魅力をご紹介します。
また昭和十八年(一九四三)に
平野耕輔氏よりご寄贈を受けた伊
万里染付大皿のコレクションを四
十点ほどまとめて公開し、さらに
一部で「使う」視点を取り入れた展
示方法を試みる予定です。どうぞ
ご期待ください。(今井敦)

特別展
「染付—藍が彩るアジアの器」

7月14日(火)～9月6日(日)
東京国立博物館 平成館特別展示室1・2室

主催:東京国立博物館 観覧料:一般1000円(800円/700円)、
大学生800円(600円/500円)、高校生600円(400円/300円)
※()内は前売/20名以上の団体料金 「伊勢神宮と神々の美術」
展とのセット券:一般1600円(1300円)、大学生1200円(900円)、
高校生800円(700円)※()内は前売料金

※中学生以下無料※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に障害者手帳
などをご提示ください※特別展「伊勢神宮と神々の美術」(7/14～9/6)は別途
観覧料が必要です

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)

特別展予告

特別展
「伊勢神宮と神々の美術」

7月14日(火)～9月6日(日)
東京国立博物館平成館特別展示室3・4室

主催:東京国立博物館、社団法人霞会館、産経新聞社 特別協力:神宮司庁
後援:未定 協力:神社本庁、東京都神社庁、皇學館大學
観覧料:一般1400円(1100円/900円)、大学生1000円(700円/600円)、
高校生700円(500円/400円)

※()内は前売/20名以上の団体料金。中学生以下無料。
※障害者とその介護者1名は無料。入館の際に、障害者手帳などをご提示ください
※特別展「染付—藍が彩るアジアの器」は別途観覧料が必要です
※「染付」展とのセット券は上記染付展のコーナーをご覧下さい

お問い合わせ:03-5777-8600(ハローダイヤル)
2009年9月19日(土)～11月9日(月) 大阪歴史博物館へ巡回予定



上:図1
◎玉纏横刀(たままきのたち)
鎌倉時代 13世紀
三重・神宮司庁蔵

左:図2
両宮受茶羅(りょうぐうまんたら)
室町時代 16世紀
三重・神宮徴古館蔵

第62回式年遷宮記念 特別展
伊勢神宮と神々の美術

In commemoration of the 62nd Shikinen Sengu Ceremony
Ise Jingu and Treasures of Shinto

伊勢神宮はおよそ二千年前に鎮
座されたと伝えられ、社殿を有す
るもっとも古い神社です。そして
飛鳥時代には二十年に一度、正殿
をはじめ装束、神宝を造り替えて、
御神体を新宮に遷す遷宮が行われ
てきました。平成二十五年には第
六十二回の式年遷宮が行われま
す。この展覧会はその式年遷宮を
記念して、伊勢神宮の歴史と信仰、
式年遷宮の様子を紹介しようとし
るものです。内容は、四部から構
成され、「神宮の歴史と信仰」では、
伊勢神宮の鎮座の過程や齋宮など
を「古事記」、「日本書紀」、「延喜
式」などの良本によって示し、ま
たその信仰が神社だけでなく、奈

良時代から仏教とも深くかわつ
ていたことを僧や神官の事跡から
たどりまます。「遷宮と古神宝」は、
撤下されたのちに発見された玉纏
横刀(図1)、櫛、高機や、一四一〇
年に描かれた最古の神宝図巻を展
示し、それらと宗像大社、八代神
社、鶴岡八幡宮、熊野速玉大社な
ど他の神社の古神宝と比較し、そ
の共通する点などを紹介します。
「今に伝える神宝」は昭和に調進さ
れた神宝を展示し、現在に引き継
がれる装束、調度品などと、その技
術の多彩な様相を理解できるよう
にします。最後の「神々の姿」では近
年注目されている神像彫刻について、
その優品を紹介します。(原田一敏)

これだけは
見逃せない!
おすすめの
この1点

重文 火焰宝珠形舍利容器

5月31日(月)まで展示 本館12室 彫刻と金工

*6月2日(火)～8月23日(日) 本館14室 特集陳列「密教工芸―神秘的な形―」にて展示



◎火焰宝珠形舍利容器 鎌倉時代・13世紀

舍利容器は釈迦の遺骨(仏舍利)を納めるために特別にあつらえられた器のことで、インドでは釈迦の入滅後、荼毘に付された遺骨を分け、各地に建てられたストウパ(仏塔)に仏舍利を納めた舍利容器を埋納して篤く信仰しました。この仏舍利信仰は日本にも伝えられ、最初に建てられた本格的な寺院である飛鳥寺の塔の心礎にも、すでに舍利容器が納められたとみなされる方形の穴が開けられていました。

鎌倉時代には釈迦への信仰が高まりましたが、これに伴い仏舍利信仰もたいへん盛んになり、仏舍利を納める舍利塔や舍利容器も数多く作られました。この舍利容器はその一つで、鎌倉時代の舍利容器を代表する名品の一つです。火焰付きの宝珠を舍利容器に見立て、その内部に仏舍利を納めるようにしていることから、火焰宝珠形舍利容器と呼ばれます。

ではその姿を下方から順に見ていきましょう。返花座付きの方形基壇の上にのせた複弁の蕊付き返花座の蓮肉の上に八角輪宝を据え、その上に立てた五鈷杵が円相を有する蓮

台奉安の火焰付き宝珠を支える独特な造形です。各部分はいずれも銅製で鍍金が施され、宝珠にはさらに鍍銀が施されています。本品のように立てた金剛杵の上に宝珠をのせた形の舍利容器は、特に「密観宝珠形舍利容器」とも称されます。これはこの形の舍利容器が密教の観想に用いられたと考えられることによっています。密観宝珠形舍利容器は、西大寺を復興した叡尊が行なった「如意宝輪華法」など聖宝を祖とする小野流で行なわれた如意輪宝珠法(如意輪観音を本尊とした宝珠法)という修法に用いられたと推定され、西大寺を中心とした寺院に同様な作例が少なからず見受けられます。本品の伝来は不詳ですが、以上のことから、西大寺もしくは西大寺系の寺院に伝わったものとも考えられます。

各部分に見られる手彫れた精緻な手法は、鎌倉時代の優れた金工技法をよく示していますが、その製作時期は、肩が強く外に開いた五鈷杵の鈷張りや筋弁にした宝珠の蓮台の花弁などから見て鎌倉時代も後半に入ってからかと考えられます。(加島勝)

陳 特
列 集

平成 20年度 新収品

5月19日(火)～6月14日(日) 本館特別1・2室

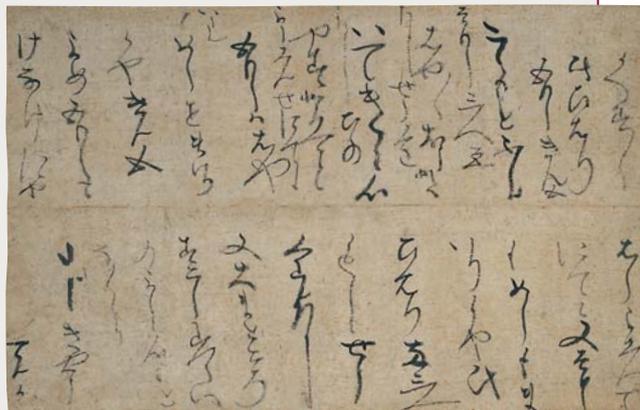
平成20年度はご寄贈やご購入など全部で410余件の作品が新たに東京国立博物館の所蔵となりました。

毎年皆さまにお楽しみいただいている新収品展、本号と次号で2回にわけてご紹介します。

秀吉が妻に宛てた手紙 書状 豊臣秀吉筆

豊臣秀吉(一五三七～九八)は安土桃山時代に活躍し、天下を統一した武将です。日本人ならば一度は耳にしたことがある有名な人物ですが、果たしてどんな文字を書いたのでしょうか。そんな素朴な疑問について、東京国立博物館での陳列で答えが得られるでしょう。

この書状は秀吉が京に滞在中の天正十四年(二五八六)、妻の杉原氏(北政所お寧)に宛てて出した手紙です。かな文字を用いているのは女性に宛てているためです。文末差出書に



書状 豊臣秀吉筆 安土桃山時代・天正14年(1586)
強弱の明白な、かなり癖のある筆致が秀吉の字の特徴です。皆さんはどんなイメージを感じられますか

動きのある清新な表現

重文 十二神将立像 申神

九体阿弥陀で有名な、京都の浄瑠璃寺に伝来したといわれる十二神将のうちの一軀です。諸家に分かれて一具すべてが現存し、当



◎十二神将立像 申神 鎌倉時代・13世紀

館もこれまでに辰、巳、未、戌の四軀を所蔵していましたが、さらに申神が加わりました。鎌倉彫刻らしく動きのある姿で、その清新な表現に運慶一門の関与を指摘する意見もあります。

本来無関係であった十二支を、十二神将に当てるようになるのは十一世紀頃です。頭頂

に動物をかたどったものを付けるのが一般的な方法で、この像にも申の標識が付きます。この像の場合、さらに顔も申を連想させる表現になっている点、実に興味深いところです。頭巾を被り、顔の色は赤みを帯び、眉はへの字形、見開いた目



◎十二神将立像 申神(頭部)

は視線を下方に向け、口元を強く引いて歪める表情はなんとも滑稽で、まさに猿公です。造像時の彩色をよく残しているのも貴重で、袖の茶色地に緑の花の文様は特に美しいものです。(丸山士郎)

「きやう てんか」とあることで確認できます。「てんか」は秀吉の仮名で「関白殿下」または「天下人」を指すとする二説があります。本文書き出しの「こもとふしん」という語句は、聚楽第の建築を指し、大半が完成した旨を伝えています。またこの手紙には秀吉の実母である「おおまところ」(大政所)、養女「こもじ」(前田利家の娘・豪姫)、養子「きんご」(金吾中納言)小早川秀秋など、ごく親しい家族の名前が登場する点でも興味深い内容となっています。秀吉とその家族の交流の姿を展示室で感じてください。

この作品の購入にあたっては、賛助会員の皆さまのご協力を賜りました。(高梨真行)

注目の 特集

本館14室 工芸

蒔絵調度の代表格 特集陳列「蒔絵硯箱」

3月17日(火)～5月31日(日)

硯箱は、硯や水滴、筆・墨・小刀などの筆記用具を収める箱です。非常に欠かすことのできない道具であり、居室の中でも手の届きやすい場所に置かれてきました。化粧道具など身の回りで使う細々とした物を取める手箱と並んで、身近な空間をかざった調度の代表格と言えるでしょう。そのためか、手箱や硯箱は蒔絵の調度を象徴する存在でもありません。実際、現在まで伝わる中世の蒔

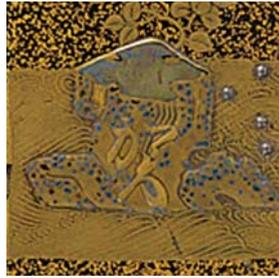
絵の名品は、ほとんどが手箱か硯箱なのです。

この度の展示では、硯箱に見られる精細な蒔絵表現の他、硯箱の様々な形式や、絵の中に描かれた硯箱をご覧いただけます。硯箱を使う人の様子や蒔絵硯箱の多彩な姿から、人々が硯箱に込めてきた思いを感じとっていただければ幸いです。

(竹内奈美子)



◎塩山蒔絵硯箱
室町時代・15世紀
硯箱には和歌など古典文学に因んだ意匠が多い



扇散蒔絵硯箱裏蓋
江戸時代・19世紀
蓋の中には水銀が流れて水車が回る絡繰(からくり)仕掛けが



東洋館第3室 東南・南アジアの美術と考古

精霊とともに生きる

特集陳列「南太平洋の暮らしと祈り」

4月7日(火)～6月7日(日)

南太平洋といえばハワイやグアムなどリゾート観光が有名ですが、そこで暮らしてきた人々の生活や文化について日本ではあまり紹介されてきませんでした。この特集陳列では、この地域の暮らしや信仰儀礼に使われた道具をご紹介します。疑似餌つきの釣針、主食のイモについてモチにする杵などの道具には、サンゴ、貝殻、サメの歯など、南海ならではの

の材料が巧みに使われています。婚礼などの重要な儀礼の場で交換された大きな石の貨幣やクジラの牙のペリダントも見逃せません。奇抜な色彩のワニや大きな仮面の木彫は、祖先の姿や精霊を表現したものとされています。祖霊や神々との交信を望んで作られたその形には、どれも凄みのある迫力が漲っています。

(川村佳男)

本館特別1・2室 企画展示

新たな国宝・重要文化財をお披露目

特集陳列「平成21年新指定

国宝・重要文化財」

4月28日(火)～5月10日(日)

主催：文化庁、東京国立博物館

重要文化財とは絵画、彫刻、工芸品、書跡・典籍、古文書、考古資料、歴史資料、建造物など、日本にある有形文化財のうち、文化的・学術的に特に重要なものを、かけがえない国民の財産として後世に伝えるため、国が指定するものを指します。

国宝に指定されます。

今回の特集陳列では、平成二十一年(二〇〇九)、我が国の文化・歴史を代表する貴重な文化財として新たに指定されることになった国宝・重要文化財(建造物を除く)を展示します。是非ご覧ください。

本年も恒例の在外日本美術修復展が、平成館企画展示室で開催される予定です。詳細は次号に掲載します。どうぞ、お楽しみに。

(救仁郷秀明)

平成館企画展示室

日本の美を後世に伝えるために

特集陳列

「海外の日本

美術品の修復」

5月26日(火)～6月7日(日)

主催：東京文化財研究所
東京国立博物館

本年も恒例の在外日本美術修復展が、平成館企画展示室で開催される予定です。詳細は次号に掲載します。どうぞ、お楽しみに。



ワニ 19～20世紀初頭
大正3年に寄贈されたニューギニアの木彫。全長1m48cm



平成館考古展示室

穏やかな表情の武人

国宝 埴輪 挂甲の武人

群馬県太田市飯塚町出土

6月14日(日)まで展示

甲冑に身を固めた武人の全身像を表した埴輪です。頭には衝角付冑をかぶり、胴には、多数の細長い鉄板を革紐で綴じ合わせた挂甲をまとい、足には膝甲と臍当てをつけています。さらに、肩には肩甲を、腕には籠手をつけ、左手首には鞆をつけています。左手には弓をもち、背中には矢を入れた鞆を背負って、右手は大刀の柄をにぎっています。この埴



●埴輪 挂甲の武人
群馬県太田市飯塚町出土 古墳時代・6世紀



背面鞆の部分

輪は実物をかなり忠実に表現しており、当時の武器・武具とそれを装着した様子がよくわかる貴重な例として、埴輪で唯一の国宝に指定されています。完全武装した姿でありながら、とても穏やかな表情なのが印象的です。(望月幹夫)

本館13室 陶磁

文学にちなんだ乾山作品

鏤絵十体和歌短冊皿

乾山作

6月14日(日)まで展示

尾形乾山の最晩年に江戸で制作されたと考えられているものです。歌の典拠は、藤原定家の歌論に基づき新古今和歌集などから十の様式に当てはまる和歌を集めた「定家十体(十体和歌、和歌十体)」で、十体の分類のなかから一首ずつを選んで短冊に見立てた十枚の皿に書いています。八首は秋冬の情景を詠み、一首



鏤絵十体和歌短冊皿 乾山作 江戸時代・寛保3年(1743)
(10枚1組のうち5枚) 上:見込み 下:裏
裏側に和歌の様式と乾山の銘が記されています

は恋の歌、もう一首は乾山の故郷、京都に近い唐崎の春の景色を思ふ歌です。さまざまな連想を呼び起こす

和歌の選択は、乾山とこの作品を楽しんだ人びとの教養を映し出しています。(遠藤楽子)

本館3室 宮廷の美術

王朝貴族のシンデレラストーリー

重文 住吉物語絵巻

5月12日(火)〜6月14日(日)

むかし、ある中納言の貴族がいました。美しい長女―姫君―が生まれますが、姫君の母は幼くして亡くなり、中納言は再婚して二人の娘が生まれます。長女の姫君は美しく育ち、右大臣の子の中将が彼女に恋焦がれますが、継母は何かと自分の子供を引き立てます。姫君は乳母を頼って今の大阪・住吉に逃れるように隠れ住んでしまいましたが、中将は長谷観音のお告げによって住吉を訪ねて姫君と会い、結ばれました。

絵はやまと絵の伝統を引いて、丁寧に描かれ、物語にふさわしい雰囲気を表しています。(小林達朗)

◎住吉物語絵巻 鎌倉時代・14世紀
背景の障子絵もとても美しく描かれています。細部もお楽しみください



東洋館休館のお知らせ

東洋館(アジアギャラリー)は、二〇〇九年六月八日(月)から当分の間、耐震補強工事のため休館いたします。休館中は八月四日(火)から表慶館で代替の展示を行なう予定です。また本館などで随時、特集陳列を行なっています。東洋館は、日本をのぞく東洋のさまざまな地域の美術、工芸、考古遺物を展示する館として、昭和四十三年(一九六八)に開館いたしました。吹き抜

けのホールが印象的な一階は巨大な石像を含む彫刻作品を展示。中二階から三階までは、半階ずつ階段をのぼって展示室をめぐり、エジプト、西アジア、東南アジア、中国、朝鮮の順に各地域の作品をご覧いただく構造になっています。正倉院を思わせる外観は、現在の法隆寺宝物館を設計した谷口吉生の父、谷口吉郎の基本設計によるものです。新東洋館では、より一層充実した展示を行なっています。再開の時期は未定ですが、その日をどうぞ楽しみにお待ちください。

平成館
小講堂

こどもたちのアートスタジオ

当館生涯学習ボランティアによるワークショップを開催いたします。

「勾玉作り」

平成館考古展示室にある勾玉^{まがたま}を見学した後に、滑石^{かっせき}を削って勾玉を制作します。

日時：5月24日(日)13:30～15:30(120分) 場所：平成館 小講堂

対象：小学校3年生から高校生 ※保護者の方の見学も可能です(但し平常展入館料が必要です)

定員：10名程度

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に、「勾玉作り 5月24日」とお書きのうえ、郵便番号・住所・参加される方のお名前(ふりがな)・学年・電話番号・保護者が一緒の場合はその人数、「返信用表面」に、返信先の郵便番号・住所・氏名を明記し下記までお申込下さい。

締切：5月11日(月)必着 ※締切の後、参加券をお送りします。なお、応募多数の場合は抽選とさせていただきます。

申込先：〒110-8792 東京都台東区上野公園13-9 東京国立博物館学芸企画部博物館教育課ボランティア室

本館20室 「仏頭」ができるまで

特別展「国宝 阿修羅展^{あしゅら}」に関連して、興福寺が所蔵する国宝「仏頭^{ぶつとう}」の制作工程模型を展示します。飛鳥時代の金銅仏^{こんどうぶつ}の名品「仏頭」がどのようにして造られたかを、東京芸術大学学生ボランティアのみなさんが^{こしら}えられた模型をご紹介します。

陳列期間：3月31日(火)～7月26日(日) 陳列場所：本館20室

※特別展「国宝 阿修羅展」には仏頭は出品されません。

ボランティアによるたてもの散歩 ツアーの通年実施がはじまります。

昨年秋に期間限定で実施され好評を得たボランティアによる建築ガイドツアーがたちを変えて、通年で行われることになりました。重要文化財として指定されている表慶館と本館を主にご案内する約40分間のツアーです。建築空間をめぐる、新しい博物館の楽しみ方を体験してみませんか。

4・5月の実施日：4月7日(火)、11日(土)、21日(火)、25日(土)
5月5日(火・祝)、9日(土)、23日(土)、26日(火)

*6月以降は、博物館ニュース、ホームページ等をご参照下さい

実施時間：火曜日は15:00から、土曜日は11:00からの40分程度
集合場所：本館1階エントランス



本館正面

ボランティアによるガイドツアー 「東博お花見ガイド」

博物館の構内にはヨシノシダレやオオシマザクラなど10種類以上の桜の木があるのをご存知でしょうか。桜は昔から日本人に愛された題材であり、その季節には展示室でも桜に関連した作品を見ることができます。そこで、お花見の時期に合わせて構内にある桜の木と、本館内の桜をモチーフにした展示作品を紹介するガイドツアーを実施いたします。博物館でのお花見をどうぞお楽しみください。

実施期間：3月24日(火)～4月18日(土)

実施日時：期間中の火曜日、木曜日、土曜日と3月29日(日)
11:00～11:45、14:30～15:15(各日2回実施)

集合場所：本館1階エントランス



ヨシノシダレ

国際博物館の日 記念講演会

「上野の博物館・美術館建築について」

国際博物館の日(5月18日)を記念し、上野の山のさまざまな近代建築を解説していただきます。

講師：藤森照信氏(東京大学生産技術研究所教授)

日時：5月10日(日)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

定員：380名(当日先着順)

聴講無料：ただし当日の入館料は必要

「アジア美術の殿堂 東洋館の生い立ちと改修計画」

耐震補強・リニューアル工事を控え、東洋館の40年を回顧し、将来像を語ります。

講師：角井博氏(筑波大学名誉教授・当館名誉館員)・谷豊信(当館列品管理課長)

日時：5月16日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

定員：380名(当日先着順)

聴講無料：ただし当日の入館料は必要

国際博物館の日 記念事業

博物館・動物園セミナー ～上野の山でクマめぐり～

動物園でクマ(マレーグマ、ツキノワグマ、ヒグマ、ホッキョクグマ)の生態観察、科学博物館でクマの化石や骨格からクマの進化に触れ、東京国立博物館ではクマに関係した美術品を鑑賞します。博物館と動物園が一面所に集まっている上野だからこそできるユニークな「3館園連携事業」です。

日時：5月17日(日)9:15～14:00

会場：恩賜上野動物園・国立科学博物館・東京国立博物館

対象：中学生以上 一般30名 なお応募数が定員を上回った場合は抽選で決定 *抽選時には、15名まで中・高生を優先扱いとします

参加費：1000円(資料代・昼食代・飲み物込み)

*「上野のれん会」加盟レストランの協力により特製弁当をご用意します。

申込方法：往復はがきに ①行事の名称「上野の山でクマめぐり」
②参加者の氏名(フリガナ)(1枚に2名まで) ③職業/学年・年齢 ④住所 ⑤電話番号をご記入のうえ、下記の宛先にお送りください。

〒110-8711 東京都台東区上野公園9-83 恩賜上野動物園教育普及課「上野の山でクマめぐり」係

問い合わせ：電話03-3828-5171

申込締切：4月30日(木)当日消印有効

当日、取材が入る場合があります。ご了承ください。

申込みに際して収集した個人情報につきましては、本事業にのみ使用し、終了後は速やかに廃棄します。

月例講演会

「イル＝ド＝フランスの黒田清輝」

本館18室の特集陳列「黒田清輝のフランス留学」(3月3日～4月12日)に関連した講演会です。

講師：荒屋鋪透氏(ポーラ美術振興財団ポーラ美術館 学芸部長、西洋近代絵画史・日本近代絵画史)

日時：4月4日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

定員：380名(当日先着順)

聴講無料：ただし当日の入館料は必要

「Story of…」カルティエ クリエイション ～めぐり逢う美の記憶」記念事業

対談「展覧会のディレクションと吉岡徳仁のデザイン観」

講師：吉岡徳仁氏(デザイナー、本展監修者)、伊東史子氏(デザインマネジメント)

日時：4月5日(日)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

定員：380名(当日先着順)

聴講無料：ただし「Story of…」展観覧券(半券でも可)が必要

「国宝 阿修羅展」記念講演会

第1回

「興福寺創建と天平文化」多川俊映師(法相宗大本山興福寺貫首)

4月11日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券(半券でも可)が必要

申込締切：3月24日(火)必着

第2回

「国宝 阿修羅像について」金子啓明(当館特任研究員)

4月25日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券(半券でも可)が必要

申込締切：4月7日(火)必着

第3回

「奈良時代の興福寺と阿修羅像」佐藤信氏(東京大学大学院教授)

5月9日(土)13:30～15:00(開場13:00)

会場：平成館大講堂

無料：ただし「国宝 阿修羅展」観覧券(半券でも可)が必要

申込締切：4月21日(火)必着

申込方法：往復はがきの「往信用裏面」に郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号・聴講希望する講演会の日付を、「返信用表面」に郵便番号・住所・氏名を明記して下記までお申込ください。

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-28-9 ヤマナシビル(ウインダム内)「国宝 阿修羅展」広報事務局

講演会〔(1)4月11日または(2)4月25日または(3)5月9日〕係

1枚の往復はがきで1つの講演会に最大2人の応募可。2人の場合はそれぞれの氏名を必ず明記のこと。応募多数の場合は抽選の上受講券をお送りします。

■興福寺講座「天平の文化空間の再構成」

興福寺のお坊さんが、興福寺創建期の歴史と中金堂再建事業についてお話しします。

会期中の水曜日 11:30、14:00、16:00。各30分程度

会場：平成館大講堂

定員：各回380名(当日先着順)

無料：ただし当日の入館料は必要

INFORMATION

イベント開催のお知らせ

上野ミュージアムウィーク 「国際博物館の日」記念事業2009

国際博物館の日(5月18日)を記念して、5月9日(土)～24日(日)の期間、上野の各文化施設や商店が様々なイベントを開催します。

東京国立博物館では以下のイベントが開催されます。講演会、博物館・動物園セミナーについては、本誌13ページをご覧ください。

研究員による博物館ガイダンス

「東京国立博物館へようこそー博物館と今日のみどころ紹介ー」
5月17日(日) ①10:00～10:30 ②13:00～13:30 ①②は同内容
会場 本館20室(先着50名 直接会場にお集まりください)

ボランティアによる本館ハイライトツアー

5月17日(日)・19日(火) ①10:30～11:00 ②14:30～15:00
(各回先着40名。30分前から本館エントランスにて整理券配布)

ボランティアによるたてももの散歩

5月17日(日)・19日(火) ①11:00～12:00 ②15:00～16:00
(各回先着20名。30分前から本館エントランスにて整理券配布)

※イベントは参加無料、ただし5月19日以外は入館料が必要

無料観覧日(平常展のみ)

5月19日(火)(※2009年は国際博物館の日(5月18日)が休館日にあたるため、5月19日を無料観覧日とします)

臨時休館のお知らせ

6月23日(火)は電気設備点検のため臨時休館します。

チケットプレゼントのお知らせ

◆第62回式年遷宮記念特別展「伊勢神宮と神々の美術」
本誌7ページで紹介した「伊勢神宮と神々の美術」展の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は5月12日(火)必着。

◆特別展「染付一藍が彩るアジアの器」
本誌7ページで紹介した「染付」展の招待券を抽選で10組20名様にプレゼントします。締切は5月12日(火)必着。

※プレゼントの応募方法

はがきに、住所、氏名(ふりがな)、男女、年齢、職業、希望賞品(「伊勢神宮と神々の美術」または「染付」招待券)、ならびにこの号でいちばん面白かった企画をご記入のうえ、下記までお送りください。発表は発送をもって替えさせていただきます。

〒110-8712 台東区上野公園13-9 東京国立博物館
広報室「ニュース4・5月号」プレゼント係



樹脂製、金箔、着色、高さ29cm

◆東京国立博物館オリジナルミュージアムグッズ「法隆寺献納宝物 金銅如来立像(列品番号N153)の姿そのままに80%に縮小したオリジナルミュージアムグッズを、東京国立博物館ミュージアムショップで新発売いたします。(樹脂製、桐箱入り、一体三十五万円(税込み))
本物の趣までも忠実に写し取った精緻な彩色は、すべて熟練した技術者による



和太鼓御響の勇壮な演奏

◆「博物館に初もうで」は大好評
東京国立博物館お正月恒例の「博物館に初もうで」。一月二、三日の二日間、八
手作業。普段は全国の博物館で展示される本格的な模造品を制作している方々に、特別に腕をふるっていただきました。四月一日(水)よりご購入予約受付を開始します。この機会に是非お買い求めください。ご予約、お問合せ:03-3822-0088 東京国立博物館ミュージアムショップ

◆平成21年度総合パンフレット完成
新年度にあたり、当館の総合パンフレットも改訂しました。三月末より配付します。日本語のほか英、中、韓、仏、独、西の六ヶ国語版があり、外国からのお客様にもたいへん好評をいただいております。
この外国語版パンフレットは財団法人東芝国際交流財団のご助成により製作されています。
また、「東京国立博物館展示・催し物のご案内」の平成21年度版もあわせてご利用ください。

千人余の方に楽しんでいただきました。千支にちなんだ展示や館内で牛の作品をさがす「東博牛めぐり」のほか、新春を寿ぐいけばな、毎年人気の獅子舞、和太鼓演奏、江戸の遊芸、クラリネットコンサートなど、お正月気分を盛り上げました。

◆東京国立博物館賛助会員募集のご案内

東京国立博物館では賛助会員制度を設け、当館の活動を幅広くご支援いただいております。賛助会員よりいただいた会費は、文化財の購入・修理、調査研究・平常展・施設整備等の充実にあてております。どうか賛助会の趣旨にご理解ご賛同いただき、ご入会くださいますようお願い申し上げます。

入会日より1年(入会月の翌年同月末日まで)有効。賛助会員には、特別会員と維持会員との2種類があります。年会費

特別会員 100万円以上
維持会員 法人 20万円
個人 5万円

主な特典

- 特別展の内覧会にご招待
- 東京国立博物館ニュースの送付
- *賛助会員のお申し込みは随時受け付けています。
- *お問い合わせ
東京国立博物館総務部 賛助会担当
TEL 03-3822-1111(代)

東京国立博物館賛助会員 2009年2月8日現在

特別会員

日本電設工業株式会社 様
株式会社コア 様
株式会社精養軒 様
大日本印刷株式会社 様
株式会社毎日新聞社 様
株式会社大林組東京本社 様
株式会社ホテルオークラエンタープライズ 様
株式会社ミロク情報サービス 様
読売新聞東京本社 様
三菱商事株式会社 様
凸版印刷株式会社 様
ブルガリジャパン株式会社 様
東芝国際交流財団 様
日本写真印刷株式会社 様

維持会員

東京電力株式会社 様
朝日新聞社 様
株式会社東京放送 様
三菱電機ビルテクノサービス株式会社 様
早乙女 節子 様
株式会社三冷社 様
宇津野 和俊 様
伊藤 信彦 様
井上 萬里子 様
株式会社東京美術 様
藪内 匡人 様
服部 禮次郎 様
株式会社鶴屋吉信 様
岩沢 重美 様
高田 朝子 様
齋藤 京子 様
齋藤 邦裕 様
株式会社 安井建築設計事務所 様
株式会社 ナガホリ 様
和田 喜美子 様
佐々木 芳絵 様

藤原 紀男 様
松本建設株式会社 様
関合 徳衛 様
高橋 守 様
小澤 桂一 様
上久保のり子 様
株式会社 スタイルカフェ・ドット・ネット 様
長谷川 英樹 様
池田 孝一 様
木村 剛 様
観世 あすか 様
ココロファニチャー株式会社 様
星笠 尚由 様
久保 順子 様
渡辺 章 様
稲垣 哲行 様
帖佐 誠 様
株式会社 古美術数本 様
飯岡 雄一 様
峯村 協成 様
牧美也子 様
高瀬 正樹 様
坂井 俊彦 様
寺浦 信之 様
塚越 香 様
高木 美華子 様
日本ハーデス株式会社 様
山岡 ユウ子 様
古屋 光夫 様
根田 穂美子 様
松本 澄子 様
鷲塚 泰光 様
是常 博 様
上野 孝一 様
北山 喜立 様
謙慎書道会 様
社団法人 全国学校栄養士協議会 様
山田 泰子 様

近代書道研究所 様
田村 久雄 様
日本産興業株式会社 様
高橋 徹 様
柴田 陸子 様
網村 安代 様
高橋 良守 様
岡田 博子 様
臼井 生三 様
津久井 秀郎 様
藤倉 光夫 様
川澄 祐勝 様
神通 豊 様
永久 幸範 様
五十嵐 良和 様
神通 豊 様
池田 慶子 様
株式会社 東京書芸館 様
青山 千代 様
藤崎 英喜 様
永田 実香 様
西岡 康宏 様
友景 紀子 様
東野 治之 様
辻 泰二 様
高木 聖鶴 様
竹下 佳宏 様
松原 聡 様
シチズンホールディングス株式会社 様
野澤 智子 様
有賀 浩治 様
吉田 幸弘 様
野崎 弘 様
坂田 浩一 様
池谷 正夫 様
池谷 徳雄 様
脇 素一郎 様
高谷 光宏 様

青山 道夫 様
杉原 健 様
木谷 駿一郎 様
木村 則子 様
インフォコム株式会社 様
渡久地 ツル子 様
汐崎 浩正 様
間脇 代 様
堤 勝代 様
山下 由紀子 様
平井 千恵子 様
秦 芳彦 様
田中 千秋 様
学校法人 大勝院学園 様
小西 暉也 様
澁谷 洋志 様
山下 照夫 様
小澤 祐子 様
仙石 哲朗 様
中井 伸行 様
高見 康雄 様
田中 望 様
三井 速雄 様
坂詰 貴司 様
岡田 靖 様
有明システム設計 様
松本 雅彦 様
明珍 素也 様
伊藤 喜雄 様
井上 雄吉 様
狩野 祐光 様
大森 雅子 様
鈴木 宗鶴 様
折越 卓哉 様
渡辺 泰昌 様
平野 京子 様
安田 和正 様
細川 要子 様
(ほか56名3社、順不同)

東京国立博物館友の会&パスポート

友の会 年会費 1万円 発行日から1年間有効
 特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でもご覧いただけます。特別展に関しては、観覧券を12枚配布。そのほか、本誌の定期郵送などさまざまな特典があります

パスポート 一般 4,000円 学生 2,500円
 発行日から1年間有効
 特典 東京・京都・奈良・九州国立博物館4館の平常展は何度でも、お好きな6つの特別展を1回ずつ計6回までご覧いただけます

*建物の改修等のため、京都国立博物館平常展示館、東京国立博物館東洋館(2009年6月8日～)など一部展示館を閉館することがあります。

◆お申し込みは当館窓口、郵便振替または当館ホームページで
 友の会

加入者名(振替先)東京国立博物館友の会
 口座番号00160-6-406616
 *振替用紙には職業・年齢・性別を楷書でご記入ください

パスポート
 加入者名(振替先)東京国立博物館パスポート
 口座番号00140-1-668060

*振替用紙には申込区分(一般か学生)、学生の場合は学校名および学生証番号を楷書でご記入のうえ、生徒手帳か学生証のコピーを郵送またはFAXでお送りください
 *振替用紙の半券が領収書になります。会員証、パスポートチケットが届くまで保管しておください
 *振替手数料はおお客様の負担となります
 *郵便振替でのお申込には2週間かかります

◆問い合わせ
 TEL 03-3822-1111(代) 友の会・パスポート担当
 FAX 03-3821-9680

東京国立博物館ニュース定期郵送のご案内
 本誌の定期購読をご希望の方は、年間(6冊分)1,000円の送料・事務費のご負担でご自宅にお届けします

◆お申し込みは郵便振替で
 加入者名(振替先)東京国立博物館ニュース
 口座番号00100-2-388101
 *振替用紙には郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を楷書でご記入ください
 *振替用紙の半券が送料の領収書になります。1年間保管しておください
 *振替手数料はおお客様のご負担となります
 *次号より送付ご希望の場合、締切は5月10日です

東京国立博物館メールマガジンのご案内
 特別展・各種催し・展示替・ウェブ更新などの情報をいち早くお届けします *ご登録は<http://www.tnm.jp/>から

東京国立博物館利用案内
開館時間 9:30～17:00、2009年4月から11月の特別展開催期間中の金曜日は20:00まで、2009年3月28日(土)～9月の土・日・祝・休日は18:00まで(入館は閉館の30分前まで)特別展開催期間中の開館時間に変更になることがあります。本誌5、6ページをご覧ください。

休館日 毎週月曜日(祝日、休日の場合は翌日)、年末年始(12月28日～1月1日)。2009年5月4日(月・祝)～6日(水・休)は開館し、5月7日(木)休館、6月23日(火)は臨時休館。8月10日(月)は開館。

平常展観覧料金
 一般600(500)円、大学生400(300)円
 *()内は20名以上の団体料金
 *障害者とその介護者1名は無料です。入館の際に障害者手帳などをご提示ください
 *満70歳以上、および高校生以下の方の平常展観覧は無料です。入館の際に年齢のわかるもの(生徒手帳、健康保険証、運転免許証など)をご提示ください

*お申し込みの際にご提供いただいた個人情報は、当該の目的にのみ使用させていただきます。当館は個人情報に関する法令を遵守し、適正な管理・利用と保障に万全を尽くします



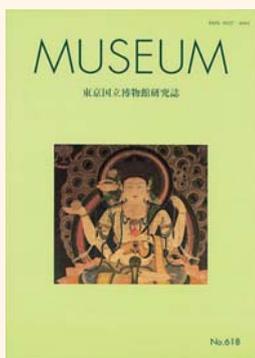
パウワーズ博物館

所在地:東京都千代田区霞が関3-2-2
 開館時間:10時～18時 ※土・日・祝日休館
 連絡先:文部科学省大臣官房総務課広報室
 03-52534111(内2170)
 入館料:無料
 ウェブサイト:<http://www.mext.go.jp/toho-hiroba/index.htm>

◆「サムライの美術 東京国立博物館精選」開催
 会期:四月十九日(日)～六月十四日(日)
 会場:パウワーズ博物館(米国)
 主催:東京国立博物館、パウワーズ博物館
 この春、米国カリフォルニア州サンタアナ市にあるパウワーズ博物館で、サムライをテーマにした当館のコレクション展を開催します。本展は、昨年モスクワで行われ大変好評だった「サムライ 日本の武家の宝物展」をベースとし、「武器・武具」「武家の生活」の二部構成で、日本の武家文化を紹介するものです。国宝「太刀 一文字

◆文部科学省情報ひろば
 旧文部省庁舎登録有形文化財には、五つの展示室とラウンジからなる「情報ひろば」があります。展示室は1 旧大臣室、2 教育、3 スポーツ、4 科学技術・学術、5 文化に分かれ、5室では文化庁が所蔵する美術品や、いわゆる人間国宝が制作した工芸品、文化財の精緻なレプリカを展示するとともに、文化行政について、パネルやインターネット上のデータベースの閲覧などにより、わかりやすく紹介しています。皆さまも一度足を運んでみませんか。
 助真」や重要文化財「男衾三郎絵詞」などの名品を含む計八十件が海を渡ります。日系アメリカ人も多く住んでいるカリフォルニアで、現地の方々から日本の伝統文化に親しんでいただくよい機会となるでしょう。(鬼頭智美)

◆ギリシャ・日本修好二〇周年記念
 「アテネ・メトロ・ミュージアム」ギリシャの地下鉄が結んだ古代と現代」
 会期:四月七日(火)～五月十日(日)
 会場:平成館企画展示室
 主催:東京国立博物館、在京ギリシャ大使館、後援:ギリシャ政府外務省アテネ・メトロ社、日本ギリシャ協会
 協力:慶應義塾大学
 お問い合わせ:ギリシャ大使館公式サイト <http://www.grekun.jp>
 03-3703-0871(ギリシャ大使館)
 今年は日本とギリシャの修好百十周年にあたります。本展はこれを記念し、ギリシャ大使館と共催で、ギリシャの新たな文化活動の取り組みを写真パネルと映像資料によつて紹介するものです。
 首都アテネのメトロ(地下鉄)の主要駅構内には、地下鉄工事中に発掘された古代の様々な品々や建物の跡など、ギリシャの芸術家による現代美術作品とが見事に調和された展示空間が広がっています。その空間はギリシャの古代と現代の融合を強くアピールするとともにパブリックアートが現代の日常生活を美しく豊かに彩ることも印象付けています。歴史を重んじ



ながら躍動するギリシャの新たな試みをお楽しみください。(井上洋)
 ◆MUSEUM 618号
 (平成21年2月15日発行)の掲載論文
 ①「山形・立石寺根本中堂木造毘沙門天立像について」長坂一郎(東北芸術工科大学芸術学部美術史・文化財保存修復学科准教授)
 ②「髪髻当麻曼荼羅と空念―近世前期の一僧侶の活動とその意義―」日沖敦子(日本学術振興会特別研究員)
 ③「明治期における『美術』概念の成立過程」野呂田純一(文科大学客員研究員)
 ④「研究ノート 孔雀明王の俱縁果めぐって」沖松健次郎(当館学芸企画部企画課出版企画室)

◆国立博物館の展示案内
 〈京都国立博物館〉
 特別展覧会「開山無相大師650年遠諱記念 妙心寺」3月24日(火)～5月10日(日)
 〈奈良国立博物館〉
 特別展「唐招提寺金堂平成大修理記念 国宝 鑑真和上展」4月4日(土)～5月24日(日)
 〈九州国立博物館〉
 特別展「聖地チベット ボタラ宮と天空の至宝」4月11日(土)～6月14日(日)

1 WED	国宝 阿修羅展 時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1
2 THU	時間延長(18:00まで) 11:00, 14:30
3 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
4 SAT	夜間開館(20:00まで) 月列講演会「イル=ド=フランスの黒田清輝」13:30 平成館大講堂*2 11:00, 14:30 13:30 15:00
5 SUN	夜間開館(20:00まで) 対談「展覧会のディレクションと吉岡徳仁のデザイン観」13:30 平成館大講堂*1 14:30 ミュージアムコンサート カルテット・スピリタス 11:00, 13:00 本館エントランス*5
6 MON	休館日
7 TUE	時間延長(18:00まで) 列品解説「中国の鏡」14:00 本館20室 11:00, 14:30 15:00 アテネ・メトロ・ミュージアム
8 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1 14:00 14:30 14:30
9 THU	時間延長(18:00まで) 11:00, 14:30 14:00 14:30
10 FRI	夜間開館(20:00まで) 14:30
11 SAT	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「興福寺創建と天平文化」13:30 平成館大講堂*3 11:00, 14:30 11:00 14:00
12 SUN	夜間開館(20:00まで) 14:00
13 MON	休館日
14 TUE	時間延長(18:00まで) 列品解説「青磁の誕生」14:00 東洋館第5室 11:00, 14:30
15 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1
16 THU	時間延長(18:00まで) 11:00, 14:30 14:00
17 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
18 SAT	夜間開館(20:00まで) 11:00, 14:30 13:30 14:00 14:30 15:00
19 SUN	春の庭園開放 夜間開館(20:00まで) 14:00 14:30 14:30
20 MON	休館日
21 TUE	時間延長(18:00まで) 列品解説「アイヌの狩猟と漁撈」14:00 本館15室 15:00
22 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1 14:30
23 THU	時間延長(18:00まで) 14:00 14:30
24 FRI	夜間開館(20:00まで) 14:30
25 SAT	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「国宝 阿修羅像について」13:30 平成館大講堂*3 11:00 14:00
26 SUN	夜間開館(20:00まで) 12:30, 14:00
27 MON	休館日
28 TUE	時間延長(18:00まで) 列品解説「甲信越を歩く」14:00 本館16室
29 WED	夜間開館(20:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1 14:00
30 THU	時間延長(18:00まで) 14:00

- ↑ = ボランティアによる本館ハイライトツアー、集合場所:本館1階エントランス
- ☞ = ボランティアによる浮世絵展示ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 📖 = ボランティアによる陶磁エリアガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🔪 = ボランティアによる彫刻ガイド、集合場所:本館1階エントランス
- 🌳 = ボランティアによる樹木ツアー、集合場所:本館1階エントランス
- 🏛️ = ボランティアによる考古展示室ガイド、集合場所:平成館考古展示室入口
- 👤 = ボランティアによる法隆寺宝物館ガイド、集合場所:法隆寺宝物館1階エントランス
- ☕ = ボランティアによる茶会、集合場所:本館1階エントランス (一般及び大学生は参加費500円、先着30名、開始1時間前に本館1階で整理券配布)
- 🍵 = ボランティアによる庭園茶室ツアー、集合場所:本館1階エントランス (先着20名、開始30分前に集合場所で整理券配布)
- 🗺️ = ボランティアによる英語ガイド(本館ハイライト)、集合場所:本館1階エントランス
- 👥 = ボランティアによるガイドツアー-たてもとの散歩、集合場所:本館1階エントランス

1 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
2 SAT	夜間開館(20:00まで) 13:30 14:00 15:00
3 SUN	夜間開館(20:00まで) 14:00 14:30
4 MON	夜間開館(20:00まで)
5 TUE	夜間開館(20:00まで) 15:00
6 WED	夜間開館(20:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1
7 THU	休館日 (黒田記念館は開館)
8 FRI	夜間開館(20:00まで) 14:30
9 SAT	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「奈良時代の興福寺と阿修羅像」13:30 平成館大講堂*3 11:00 14:00
10 SUN	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「上野の博物館・美術館建築について」13:30 平成館大講堂*4 14:00
11 MON	休館日
12 TUE	時間延長(18:00まで) 列品解説「博物館の熊」14:00 本館20室
13 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1 14:00 14:30 14:30
14 THU	時間延長(18:00まで) 14:00 14:00 14:00
15 FRI	夜間開館(20:00まで) 15:00
16 SAT	夜間開館(20:00まで) 記念講演会「アジア美術の殿堂 東洋館の生い立ちと改修計画」13:30 平成館大講堂*4 13:30 14:00 14:30 15:00
17 SUN	夜間開館(20:00まで) 「東京国立博物館へようこそー博物館と今日のご紹介ー」10:00, 13:00 本館20室*4 博物館・動物園セミナー「上野の山でクマめぐり」*4 10:30, 14:30*4 11:00, 15:00*4 12:30, 14:00 14:00 14:30 14:30
18 MON	休館日 国際博物館の日
19 TUE	時間延長(18:00まで) 平常展無料観覧日 列品解説「兵庫鎖太刀について」14:00 本館5室 10:30, 14:30*4 11:00, 15:00*4
20 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1
21 THU	時間延長(18:00まで) 14:00
22 FRI	夜間開館(20:00まで) 列品解説「修理を支える道具と材料」18:30 本館17室 14:30
23 SAT	夜間開館(20:00まで) 11:00 14:00
24 SUN	夜間開館(20:00まで) 13:30
25 MON	休館日
26 TUE	時間延長(18:00まで) 15:00
27 WED	時間延長(18:00まで) 興福寺講座 11:30, 14:00, 16:00*1 14:00 14:30
28 THU	時間延長(18:00まで) 14:00 14:30
29 FRI	夜間開館(20:00まで) 列品解説「南太平洋の暮らしと祈り」18:30 東洋館第3室
30 SAT	夜間開館(20:00まで) 14:00
31 SUN	Story of...展 夜間開館(20:00まで) 14:00

- 6/7まで
- 🗺️ = ボランティアによるガイドツアー「東博お花見ガイド」、集合場所:本館1階エントランス
- 👤 = ボランティアによるこどもたちのアートスタジオ (勾玉づくりコース、事前予約制、詳細は本誌12ページをご覧ください)
- 🏛️ = 黒田記念館開館日、木曜・土曜 13:00~16:00
- 🎬 = ミュージアムシアター上映 10:00 11:00 12:00 14:00 15:00 16:00 各回30名、集合場所:本館1階エントランス
- *1 特別展関連事業 詳細は本誌13ページをご覧ください
- *2 特集展「黒田清輝のフランス留学」関連事業 詳細は本誌13ページをご覧ください
- *3 特別展「国宝 阿修羅展」関連事業 事前申込制、詳細は本誌13ページをご覧ください
- *4 国際博物館の日 関連事業 詳細は13ページをご覧ください
- *5 無料イベント 詳細は2・3月号14ページをご覧ください
- *上記の予定は予告なく変更になることがあります。当日の予定はインフォメーションカウンターでご確認ください
- *屋外で実施するツアー・ガイドは雨天の場合中止することがあります

「Story of...」は開館時間が異なります。詳しくは本誌6ページをご覧ください